

# インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

| 大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ） |              |             |
|----------------------|--------------|-------------|
| フリガナ）ホウセイダイガク        | フリガナ）ケイザイガクブ | フリガナ）ナガオカゼミ |
| 法政大学                 | 経済学部         | 永岡ゼミ        |

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

| チーム名（フリガナ）      | 代表者名（フリガナ）  | チーム人数<br>（代表者含む） | PPT 動画<br>（有・無） |
|-----------------|-------------|------------------|-----------------|
| フリガナ）ナガオカゼミビーハン | フリガナ）コジマタクミ | 7                | 無               |
| 永岡ゼミ B 班        | 小島拓巳        |                  |                 |

| 研究テーマ（発表タイトル）  |
|----------------|
| 食べる前にみんなで学ぼう給食 |

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

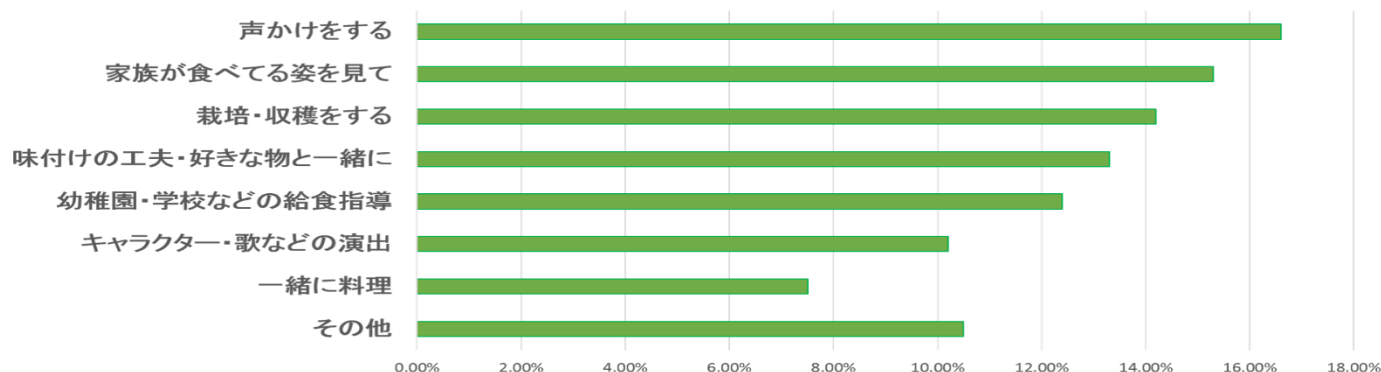
## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

子供の野菜嫌いを減らすことを目標とし、その前段階として子供たちの野菜への関心・親近感を高めてあげることを今回の狙いとする。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、3歳～中学生までの子供の約6割がいまなお野菜嫌いがある。野菜には様々な栄養素が含まれており、成長期の子供こそ野菜を食べるべきなのだが、なかなか食べさせることは難しい。無理やり叱って食べさせてもトラウマになってより嫌いになる可能性もあり、子供たちに野菜を食べさせるのは難しい問題である。

カゴメ株式会社がとった「子供が野菜を食べるようになったきっかけ」についてのアンケートによると、保護者や先生からの声かけ、周りが食べている姿を見て、栽培体験などの、『野菜への楽しさを知ること』が克服のきっかけとして多くあげられた。



カゴメ株式会社

「子供の野菜の好き嫌いに関する調査報告書（2011）」より作成

このことを八王子市保健所健康部健康政策課の秋田様にお話を伺ったところ、「子供のころから野菜に興味をもたせることは今後すききらいを減らしていくうえでのきっかけ作りとして非常に効果的であり、このきっかけが多ければ多いほど良い」とおっしゃっており、これらのことから、子供のころから野菜と触れ合う事こそが野菜嫌いの克服のきっかけにおいて重要であることがわかる。

### 3. 研究テーマの課題

どうすれば子供は野菜嫌いを克服できるのだろうか。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

子供達には野菜を食べさせる前に野菜への興味・親近感をもたせることこそが野菜嫌い克服において重要である。そこで我々は幼稚園に赴き、給食前の時間を利用して子供たちにその日出る給食の野菜についての関心度を高めてもらう取り組みを行う。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

この取り組みについて東京都町田市にある幼稚園、あいほら幼稚園の渡邊園長に伺ったところ、『子供の野菜嫌いの克服については幼稚園の先生側も非常に関心があることであり、野菜の関心度を高める取り組みは幼稚園の園児にとってはとても効果的なことである。』とおっしゃっており、また、我々があいほら幼稚園をお借りしてこのような取り組みで検証することは可能かどうか伺ったところ、『ぜひやっていただきたい』との言葉をいただいた。そこで我々はこのあいほら幼稚園にて、検証を行うこととなった。

関心度を高めるために、イベント開催という形式で今回の検証を行う。

子どもたちにその日の給食に出る野菜についての関心度を高めるための取り組み、「～給食の野菜をテーマに！～ 食べる前にみんなで学ぼう給食！」を開催する。

主な流れは、

①事前にその日に出る給食の野菜が何かを把握する。これは、我々がこの取り組みを行う際に必要な情報であり、また、開催するクラスの担任の先生にその野菜が嫌いな子供も把握しておいてもらう。

②打ち合わせをする。この時に先生に野菜嫌いの子供を聞き、またその日に使用する道具の確認なども行ってもらう。

③給食前にその野菜について勉強する。基本的には

・野菜の話

・カンタンな野菜のクイズ

・ハテナボックス

・おやさいくレヨン

・野菜粘土

これらのコンテンツを用意し、子供たちの野菜への興味をひかせる。

④給食の時間。実際にその野菜が嫌いだった子供にどのような変化が現れるかを検証する。

### 6. 結果や今後の取り組み

10月24日（月）に、東京都町田市にある、あいほら幼稚園にて開催が決定した。

その日の給食の野菜は「人参」であり、人参をテーマに様々な勉強のコンテンツを用意する。また、開催するクラスの担任の先生に事前に人参が苦手な子供を把握していただいているので、この苦手な子供たちを中心にどのような変化が現れたかを検証する。

## 7. 参考文献

- ・第二期八王子市食育推進計画づくりに関する意識調査報告書
- ・第二期八王子市食育推進計画 平成28～32年度 概要版
- ・第二期八王子市食育推進計画 平成28～32年度
- ・料理の基本と野菜活用ブック
- ・野菜、あと一皿！ちょっと実行、ずっと健康。
- ・カゴメ株式会社「子供の野菜の好き嫌いに関する調査報告書（2011）」（閲覧 2016/6/7）
- ・野菜情報サイト「野菜ナビ」（<http://www.yasainavi.com/>）
- ・野菜嫌いの子供とうまく付き合っていくための6か条（<http://www.yasai-life.net/sp/>）
- ・ベネッセ教育情報サイト（<http://benesse.jp/>）
- ・NG行動を見直すだけで超簡単に子供の野菜嫌いが克服できる（<http://josei-bigaku.jp/yasaigirai4803/>）
- ・食育の現状と今後（<http://www.nyusankin.or.jp/health/health1-19.html>）
- ・食を通じた子供の健全育成 厚生労働省（<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/02/s0219-3.html>）
- ・子供の食育をめぐる現状と問題点（[http://www.glico.co.jp/boshi/futaba/no70/con01\\_05.htm](http://www.glico.co.jp/boshi/futaba/no70/con01_05.htm)）
- ・野菜嫌い克服のコツ（<https://limia.jp/idea/15282/>）
- ・子供の食育 農林水産省（[http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomo\\_navi/](http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomo_navi/)）
- ・子供のための食育教材（<http://www.5aday.net/education/index.html>）
- ・子供への“食育”について考えてみよう（[//genki-mama.com/articles/chcz](http://genki-mama.com/articles/chcz)）
- ・6割の子供が野菜嫌い！どうして「野菜嫌いな子になるの？」（<https://itmama.jp/2015/02/24/78937/>）
- ・野菜嫌いの子供 その原因と理由とは？ 農薬工業会（<https://www.jcpa.or.jp/column/vegetable/child-reason.html>）
- ・子供の野菜嫌いの現状（<http://kodomoyasaitabenai.hatenablog.com/entry/2015/03/24/215546>）

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。